

平成23年度(4月～6月)

市の主要事業のあゆみ

エコバレーの推進

《経緯・趣旨》

本市の人口減少がこのまま推移すると、平成31年度には市内総生産(GDP)が、対平成19年度比で約8パーセント減になると予想されます。

そこで、市では、この厳しい経済状況を打開するため「経済成長戦略」を策定し、環境と経済の共鳴を高める環境都市「豊岡エコバレー」の実現に向けて取り組みます。

また同時に、地域固有の資源を生かし、地域の魅力を発信し、さまざまな分野で交流人口の拡大を図る「大交流」を目指します。

《目指すエコバレーの姿》

市民の皆さんや企業、市などそれぞれが、活動の中心に「環境」を位置付け、市内全域で環境を意識した活動の「渦」をつくります。そして、この豊岡独自の環境への取り組みを国内外に発信し、豊岡ファンを増やします。この取り組みに

関心を寄せる人や企業が来訪し、交流人口が増え、市の経済がますます活性化します。

市全域でさらに大きな環境の渦ができます。この状態が目指すエコバレーの姿です。

具体的な取り組みは、現在検討中です。

《平成23年4月～6月取り組み》

■エコバレー推進組織設置

4月に「豊岡市エコバレー推進本部」を立ち上げ、全庁的にエコバレーの推進に取り組むこととなりました。

また、「ワークショップ」を開催し、各部署での環境施策に関する現状と課題、解決策などについて議論しています。

市内の団体の総会などで、「豊岡エコバレーの実現」と題したプレゼンテーションを行い、環境への取り組みをPRしました。

■6月環境月間の周知

環境月間の周知と環境省の「昼も夜も節電ライトダウン2011」への協力を市民の皆さんにお願いしました。

■エコハウスでの取り組み

○エコクッキング教室開催

城崎子育てセンターの皆さんが参加し、余熱を利用した省エネ料理や家庭での節電などを学習しました。



▲家庭できるエコを熱心に学ぶ

○太陽光発電システムあしん相談会開催

豊岡市建築大工組合新エネルギー推進部の皆さんが、太陽光発電に関する相談会を開催しました。

《7月以降の実施・予定》

7月8日に東京有楽町「東京交通会館」にオープンした「豊岡市アンテナショップ」で、豊岡生まれ豊岡育ちの商品をお届けし、豊岡を国内外にPRしていきます。

なお、市民の皆さん、企業、事業所に対しては、引き続き節電を依頼し、省エネ対策への協力を呼び掛けていきます。

生物多様性関連事業の推進

《平成23年4月～6月取り組み》

■外来魚駆除作戦

4月26・27日、外来魚の繁殖拠点(円山川下流域の菊屋島)で、円山川漁業協同組合などと共同で外来魚駆除作業を実施しました。

■生きもの共生の日事業

5月20日は平成19年に国内の野外で43年ぶりにコウノトリのヒナが誕生した記念日です。東日本大震災のさなかにある今年は、防災行政無線による市長メッセージの放送や市内の小・中学校での「いのちの授業」の実施など、「命」を考える事業を実施しました。

《今後の予定》

コウノトリ野生復帰の取組みを核に、コウノトリの定着に向けた地域づくりの戦略を通して地域全体の生物多様性を見つめる「豊岡市生物多様性地域戦略」を2カ年かけて策定する予定です。

また、「知の誘引事業」として、田結区の湿地を中心とするフィールド演習など、大学の単位取得講座も実施します。

新庁舎建設事業の推進

《平成23年4月～6月取り組み》

■事業の進捗状況

豊岡市新庁舎機械設備工事については、4月15日に入札を執行し、議会の議決を経て、6月3日に次のとおり工事請負契約を締結しました。

〔契約の相手方〕

新日空・高山・広瀬JV(共同企業体)

また、敷地の土壌について、県の指導による適切な処理を行うため、建築工事の変更契約を締結しました。

■工事の状況

仮囲いを設置し、現場に工事事務所が完成しました。

《今後の予定》

地盤改良工事や杭工事など、順次工事を進めていきます。現時点では今秋、家工事の施工が完了する予定です。



▲仮囲いの窓から工事の様子を見ることが出来ます

スマートウエルネス 豊岡構想の推進

《スマートウエルネス豊岡構想とは》

市民の誰もが健康づくりに参加し、また健康づくりにつなげる行動を起こしたくなる仕組みを構築するなど、まちづくり全般にウエルネス（個々人が健康で生きがいを持ち、安心・安全で豊かな生活を営むことができること）の視点を取り入れた健康づくりを進める構想です。

《平成23年4月～6月取組み》

平成22年度からスマートウエルネス豊岡構想素案の検討を進め、今年4月に素案をまとめました。

6月には、素案の市民説明会を6地域で開催しました。

《今後の予定》

■スマートウエルネス豊岡構想の策定

市民説明会、グループインタビューなどの意見を受け、さらに市民の代表による検討委員会での議論を経て、スマートウエルネス豊岡構想を策定します。

策定後は、関係部署と連携

しながら、構想趣旨の啓発、事業実施を進めます。

■健康まちづくりに関する条例の制定

構想を市全体で共有し推進するため、この構想の象徴として、その目的や理念、市民や団体、行政の役割などを示す「歩いて暮らすまちづくり条例」（仮称）の制定を検討委員会でも審議します。

■健康ポイント制度

この構想の主要事業の一つとして、笑顔あふれる健康マイレージ「健康ポイント制度」を8月1日にスタートします。市民の皆さんが日々の健康づくりに取り組んだ成果をポイント化し、貯まったポイントを社会貢献活動や公共施設などの利用券と交換できる制度です。



▲市民説明会の様子

公共交通利用促進

《平成23年4月～6月取組み》

■上限2000円バス社会実験事業

大切な地域の公共交通を次世代に引き継ぐ試みとして、全但バス江原神鍋線で10月から実施する「上限2000円バス社会実験」について、清滝・西気地区で意見交換会を開催しました。

○市議会交通網特別委員会現地勉強会 4月26日

○意見交換会 9回実施

■e通勤プロジェクト

地域の公共交通を守るため、マイカーからバス・鉄道を利用する通勤に転換する取組みを平成21年10月から実施し、推進しています。

○街頭キャンペーン 6月10日（立野橋交差点）

■チクタク資母運行開始

但東町奥赤から中山を結ぶ地区の乗合タクシー「チクタク資母」が、5月23日、運行を開始しました。

チクタクの運行は昨年の出石町奥山に続き2例目で、地域の皆さんの主体的な取組み

により、地域の生活を支えることが期待されます。

■特急「こうのとり」誕生記念

■JR利用促進事業

特急「こうのとり」が今年3月12日に誕生し、車内や各駅で「コウノトリ」とアナウンスされ、豊岡のPRにつながっています。これを生かし、JRを利用した豊岡市への誘客事業を展開しています。

また、特急「こうのとり」の新型車両（287系）をイメージした「特製チョコQ」を製作し、城崎温泉への旅行商品の記念品とするなど、JRの利用促進を進めています。



▲特急「こうのとり」のチョコQ

《7月以後の実施・予定》

2000円バス社会実験開始
までに、朝夕の増便を設定し、運賃上限2000円試乗キャンペーンや沿線地区での意見交換会、利用促進PRをします。
また、「チクタクひほこ」は7月13日から運行を開始しました。

中心市街地活性化

まちの個性や歴史、伝統を生かしながら、暮らしやすい「歩いて暮らせるまちづくり」を進めるため、昨年7月「豊岡市中心市街地活性化基本計画策定委員会」を設置し、同計画素案を検討しました。

《平成23年4月～6月取組み》

○同策定委員会 3回開催
○パブリックコメント募集（6月10日～20日）

《7月以降の実施》

同策定委員会から計画素案についての報告を受け、7月に豊岡市中心市街地活性化基本計画を策定しました。

○同計画テーマ・基本方針等

・メインテーマ「小さな世界都市の真ん中で営み続ける豊岡を実感する」
・基本方針の柱

「住まう」「集う」「商う」
民間と行政が役割分担し、戦略的に事業実施します。

最初に、市役所南庁舎別館などの利活用検討事業、カバンストリートの空き店舗を活用したまちづくり事業に取り組みます。